

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場会社名 株式会社 マキヤ

上場取引所 JQ

コード番号 9890 URL <http://www.makiya-group.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川原崎 康雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・財務部長

(氏名) 矢部 利久

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 0545-36-1000

平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	30,619	△5.3	238	△57.8	278	△57.6	149	△43.6
21年3月期第2四半期	32,325	△5.6	564	△5.7	657	△2.9	265	△36.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	15.00	—
21年3月期第2四半期	25.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	29,399	11,785	40.1	1,180.42
21年3月期	29,179	11,545	39.6	1,156.42

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 11,785百万円 21年3月期 11,545百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
22年3月期	—	7.50	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	1.2	800	△26.8	1,070	△14.8	600	59.7	58.85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
[(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
[(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
[(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	10,540,200株	21年3月期	10,540,200株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	556,342株	21年3月期	556,342株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	9,983,858株	21年3月期第2四半期	10,213,882株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、上記予想は平成21年5月12日発表の連結業績予想と変更ありません。
2. 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の産業では政府の緊急経済対策による効果等により下げ止まりの兆しが見られるものの、依然として前連結会計年度に発生した世界的な不況により、非常に厳しい状況が続いております。

当小売業界におきましては、雇用・所得を取り巻く状況が厳しさを増す中、個人消費は先行き不透明感から買い控えが進み、消費マインドは大きく低迷いたしました。

このような状況の中ではありますが、当社グループは2店舗の新規開店をいたしました。食品スーパー「ポテト」の新業態である「ポテトMamy」の一号店としてポテトMamy西沢田店、業務用食料品販売店の業務スーパー静岡東店をそれぞれ新規開店いたしました。また、リニューアルオープンとして、今までノンフードのホームセンタータイプの「エスポット新富士駅南店」に併設されていた、食品スーパー「ポテト新富士店」を閉鎖して、両店舗の隔壁を撤去することによって、生鮮食品も一体となったスーパーセンター型の「エスポット新富士駅南店」としてリニューアルオープンいたしました。

一方、閉店した店舗はこのポテト新富士店を含め3店舗であります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は306億1千9百万円（前年同期比5.3%減）となりました。総合ディスカウント店「エスポット」及び業務用食料品販売店「業務スーパー」等の売上高につきましては堅調に推移いたしました。食品スーパー「ポテト」は経済環境の悪化による個人消費の落ち込みに加え、競争環境がますます激化し苦戦を強いられる結果となりました。

利益面につきましては、熾烈な価格競争・出店競争が繰り返される消耗戦の中、当社グループの販売価格も影響を受け、適正な粗利益率を確保するのが厳しい状況が続いております。経費のコントロールに加え、効率的な店舗運営、生鮮食品のプロセスセンター化による安心安全と効率化を進めてまいりましたが、これらの効率化の効果は遅延して現れるため、粗利益額の減少全てを吸収することはできませんでした。

この結果、営業利益は2億3千8百万円（前年同期比57.8%減）、経常利益は2億7千8百万円（前年同期比57.6%減）、四半期純利益につきましては1億4千9百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の総資産は293億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比較して2億1千9百万円増加いたしました。

流動資産は、65億7千5百万円と前連結会計年度末に比較して6千1百万円減少いたしました。

固定資産につきましては、新店の出店及び10月に開店予定の2店舗にかかる建設仮勘定の増加で有形固定資産が2億2千7百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較し、2億8千1百万円の増加の228億2千4百万円となりました。

また、負債につきましては、短期借入金の1億5百万円の増加、未払法人税等の1億3千1百万円の増加、社債の4億7百万円の増加等があったものの、長期借入金の8億3千4百万円の減少等により2千万円の減少となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比較して、2億3千9百万円増加の117億8千5百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比較して4千5百万円減少し、7億8千8百万円となりました。

当四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益3億7千6百万円、減価償却費4億2千8百万円等により、仕入債務の減少額1億3千5百万円等があったものの5億6千万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の売却による収入8億1千8百万円、敷金及び保証金の返還による収入1億2千1百万円等があったものの、有形固定資産の取得による支出10億9千6百万円等により、2億4百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の増加額5億2千万円、社債の発行による収入4億9千1百万円等があったものの、長期借入金の返済による支出12億4千9百万円等により4億円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、平成21年5月12日公表の業績予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日、別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成22年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は堅調に推移すると見込まれること、また更なる経費のコントロール、効率的な経営を行うことにより達成可能と判断しており、平成21年5月12日の公表数値から変更いたしておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定にあたり、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	788,975	834,692
売掛金	347,136	344,682
商品	4,953,290	4,972,814
その他	486,110	485,341
貸倒引当金	△363	△385
流動資産合計	6,575,149	6,637,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	8,247,177	8,191,041
土地	7,934,707	8,617,129
その他 (純額)	1,151,457	297,893
有形固定資産合計	17,333,342	17,106,063
無形固定資産		
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,120,339	3,213,299
その他	1,250,525	1,154,596
貸倒引当金	△6,375	△6,380
投資その他の資産合計	4,364,489	4,361,515
固定資産合計	22,824,143	22,542,829
資産合計	29,399,293	29,179,974
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,750,747	4,886,266
短期借入金	4,394,917	4,289,917
未払法人税等	203,204	71,339
賞与引当金	103,071	107,091
ポイント引当金	101,637	97,240
その他	1,750,881	1,551,760
流動負債合計	11,304,460	11,003,615
固定負債		
社債	1,117,000	710,000
長期借入金	3,624,689	4,459,647
退職給付引当金	603,400	624,908
役員退職慰労引当金	45,069	40,009
その他	919,477	796,229
固定負債合計	6,309,636	6,630,794
負債合計	17,614,096	17,634,409

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	9,700,130	9,625,169
自己株式	△446,013	△446,013
株主資本合計	11,536,063	11,461,103
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	249,132	84,461
評価・換算差額等合計	249,132	84,461
純資産合計	11,785,196	11,545,564
負債純資産合計	29,399,293	29,179,974

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
売上高	32,325,981	30,619,721
売上原価	25,073,702	24,250,694
売上総利益	7,252,278	6,369,026
販売費及び一般管理費	6,687,839	6,130,973
営業利益	564,438	238,053
営業外収益		
受取利息	4,554	2,330
受取配当金	6,480	5,909
受取家賃	123,567	111,333
その他	103,175	60,250
営業外収益合計	237,777	179,824
営業外費用		
支払利息	72,066	72,649
不動産賃貸費用	31,873	33,528
その他	40,967	33,002
営業外費用合計	144,908	139,180
経常利益	657,307	278,696
特別利益		
有形固定資産売却益	—	166,502
特別利益合計	—	166,502
特別損失		
減損損失	65,227	68,208
特別損失合計	65,227	68,208
税金等調整前四半期純利益	592,080	376,990
法人税、住民税及び事業税	96,016	187,872
法人税等調整額	230,520	39,278
法人税等合計	326,536	227,151
四半期純利益	265,543	149,839

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	592,080	376,990
減価償却費	420,082	428,457
減損損失	65,227	68,208
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,011	△27
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,145	△4,020
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	4,285	4,397
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△64,101	△21,507
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△480	5,060
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,468	△5,579
受取利息及び受取配当金	△11,034	△8,240
支払利息	72,066	72,649
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△166,502
為替差損益 (△は益)	810	2,212
売上債権の増減額 (△は増加)	7,568	△2,454
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△42,234	4,216
仕入債務の増減額 (△は減少)	△213,865	△135,519
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△100,943	22,410
その他	△29,779	40,631
小計	709,372	681,383
利息及び配当金の受取額	11,034	8,240
利息の支払額	△69,660	△72,653
法人税等の支払額	△257,594	△55,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	393,151	560,970
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,132,876	△1,096,587
有形固定資産の売却による収入	93,325	818,610
有形固定資産の除却による支出	—	△16,990
貸付金の回収による収入	5,466	5,014
敷金及び保証金の差入による支出	△19,453	△28,443
敷金及び保証金の回収による収入	215,865	121,404
その他	△13,775	△7,378
投資活動によるキャッシュ・フロー	△851,447	△204,371
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△340,000	520,000
長期借入れによる収入	1,800,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,310,290	△1,249,958
社債の発行による収入	293,359	491,558
社債の償還による支出	—	△30,000
リース債務の返済による支出	—	△56,824
自己株式の取得による支出	△8,929	—
配当金の支払額	△76,679	△74,878
財務活動によるキャッシュ・フロー	357,459	△400,103
現金及び現金同等物に係る換算差額	△810	△2,212
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△101,647	△45,716
現金及び現金同等物の期首残高	929,436	834,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	827,789	788,975

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 事業種類別セグメント情報

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

小売事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

小売事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

小売事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

小売事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

2 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

当連結グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

当連結グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

当連結グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

当連結グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

3 海外売上高

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

当連結グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

当連結グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

当連結グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

当連結グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。